

主日礼拝

2021 年 09 月 19 日
午前 10 時 30 分前奏 「シバの女王の到着」オラトリオ『ソロモン』より
(G.F. ヘンデル)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「主よ、あなたの^{おきて}掟^{したが}に従^{みち}う道^{しめ}を示してください。最後までそれを^{さいご}守^{まも}らせてください。あなたの^{りっぼう}律法^{りかい}を理解^{たも}させ、保^{たも}たせてください。わたしは^{こころ}心^つを^{まも}尽くしてそれを守ります。あなたの^{いまし}戒^{したが}めに^{みち}従^{みちび}う道^{みち}にお導^{あひ}きください。わたしはその道^{みち}を愛^{あひ}しています。」

(詩編 119 : 33~35)

リタニー「主の招き」

司式者：主は言われます。

「こどもたち、いらっしゃい。」

一 同：「天国はあなたがたの^{てんごく}ような^{もの}者の^{くに}国^{くに}です。」

司式者：主は言われます。

「わたしの名^なによって^{あつ}集^{あつ}まる^{あつ}ところにわたしもいる。」一 同：さあ、お^{むか}迎え^{むか}しよう、
イエスさまをわたしの^{こころ}心^{こころ}に。

司式者：主は言われます。

「神^{かみ}と人^{ひと}とに^{つか}仕^{つか}える人^{ひと}になりなさい。」一 同：主よ、わたしたちに、^{しゆ}平和^{へい}をつくりだす^わ
^{ゆうき}勇^{ゆう}気を^きください。
アーメン。

祈禱

献金 献金箱が受付に置いてありますので、
礼拝前にお^く献^{けん}げ^{げん}ください。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは ^み名^なを^あが^めめ^めさせたまえ。
^み国^{くに}を^らせたまえ。
^みこ^ころ^の天^{てん}に^なる^ごと^とく
地^ちにも^なさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

聖書 マタイによる福音書 19 : 13~30

新約(新共同訳) p37~p38

そのとき、イエスに手を置いて祈っていただくために、
人々が子供たちを連れて来た。弟子たちはこの人々を叱っ
た。しかし、イエスは言われた。「子供たちを来させなさい。
わたしのところに来るのを妨げてはならない。天の国
はこのような者たちのものである。」そして、子供たちに
手を置いてから、そこを立ち去られた。さて、一人の男がイエスに近寄って来て言った。「先生、
永遠の命を得るには、どんな善いことをすればよいのでし
ょうか。」イエスは言われた。「なぜ、善いことについて、
わたしに尋ねるのか。善い方はおひとりである。もし命を
得たいのなら、掟を守りなさい。」男が「どの掟ですか」
と尋ねると、イエスは言われた。「『殺すな、姦淫するな、
盗むな、偽証するな、父母を敬え、また、隣人を自分のよ
うに愛しなさい。』」そこで、この青年は言った。「そう
いうことはみな守ってきました。まだ何か欠けているのでし
ょうか。」イエスは言われた。「もし完全になりたいのなら、行っ
て持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうす
れば、天に富を積むことになる。それから、わたしに従
いなさい。」青年はこの言葉を聞き、悲しみながら立ち
去った。たくさんの財産を持っていたからである。イエスは弟子たちに言われた。「はっきりしておく。
金持ちが天の国に入るのは難しい。重ねて言うが、金持
ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がま
だ易しい。」弟子たちはこれを聞いて非常に驚き、「そ
れでは、だれが救われるのだろうか」と言った。イエス
は彼らを見つめて、「それは人間にできることではない
が、神は何でもできる」と言われた。すると、ペトロが
イエスに言った。「このとおり、わたしたちは何もかも
捨ててあなたに従って参りました。では、わたしたちは
何をいただけるのでしょうか。」イエスは一同に言われ
た。「はっきりしておく。新しい世界になり、人の子
が栄光の座に座るとき、あなたがたも、わたしに従って
来たのだから、十二の座に座ってイスラエルの十二部族
を治めることになる。わたしの名のために、家、兄弟、
姉妹、父、母、子供、畑を捨てた者は皆、その百倍もの
報いを受け、永遠の命を受け継ぐ。しかし、先にいる多
くの者が後になり、後にいる多くの者が先になる。」

賛美 197(1,2,4) 「ああ主のひとみ」

詞：井原利男、1926-、梅田信治、1922-1976

SHU NO HITOMI
曲：高田早穂見、1926-

ああ主の - ひ - とみ、 ま - なざ - しよ -、
 き - よき みまえを さ - りゆきし -
 とめる わこうど み つめ つつ -、
 なげくはた - れぞ、主 - ならずや -。

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① ああ主のひとみ まなざしよ、
 きよきみまえを 去りゆきし
 富める若人 見つめつつ、
 なげくはたれぞ、主ならずや。</p> | <p>③ ああ主のひとみ まなざしよ、
 うたがいまどう トマスにも、
 み傷しめして 「信ぜよ」と、
 招くはたれぞ、主ならずや。</p> |
| <p>② ああ主のひとみ まなざしよ、
 三たびわが主を いなみたる
 よわきベトロを かえりみて、
 ゆるすはたれぞ、主ならずや。</p> | <p>④ きのうちもきょうも かわりなく、
 血しおしたたる み手をのべ、
 「友よかえれ」と まねきつつ
 待てるはたれぞ、主ならずや。</p> |

説教 「あなたはどこに立つの」

賛美 507 「主に従うことは」

1. しゆにしたがう ことは なんとうれし いこと
 2. しゆにしたがう ことは なんというし あわせ
 3. しゆにしたがう ことは なんとこころ づよい

こころのそらはれて ひかりはてる よ
 わるいおもいきえて こころはすむ よ
 おそれのかげきえて ちからはます よ

(くりかえし)
 しゆのあとにつ づきとも にすすもう
 しゆのあとにつ づき うたつすすもう

派遣

- 司式者 主は言われます。
 「わたしは誰を遣わすべきか。」
- 会衆 わたしがここにおります。
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「プレリュード 二長調」 (D. ブクステフーデ)

司式 福原 之織
 説教 向井 希夫 牧師
 奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、
 座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。